

アルファ UV カラーレジン

クラフト用 UV カラーレジン アルファ UV カラーレジンについて

カラーレジンの本格的な製品群を取りそろえました。

アルファ UV カラーレジンはすべて顔料を使用した着色品です。

販売店様のオリジナルブランドによる販売が出来ます。

I カラーレジンには—多くのメリットがあります

- ① その都度混ぜる顔料着色と違い、絶えずきれいな状態で同じ色が再現でき、煩雑な手間がかかりません。
- ② 顔料の混合によってできるダマや気泡がありませんので、作品の仕上がりが良くなります。カラーレジンの混合、組み合わせは自由にできます。
アルファ UV カラーレジンは顔料のみを使用しており、発色がレジンによって変化することはほとんどの場合起きません。
- ③ カラーレジン用に使用している顔料は、透明感を重視したものとなっています。メーカーでは顔料の分散は専用機を用い、UV レジンの液体原料を使用してトナー化したものを使用しています。粉末顔料をその都度混合する従来のカラーレジンとは透明性、鮮鋭性が全く違います。
UV レジンの原料以外の材料でトナー化された、市販の着色剤トナーとも全く違います。UV レジンに最も適した顔料を選択し、用いている点でもこれらのものと違います。
粉末を混ぜただけの着色は、よく混ぜたつもりでも実は顔料は単粒子に分散してはおらず、顔料粒子の凝集した状態で液中に浮遊しています。単純な攪拌混合だけでは、顔料の単粒子への分散はできません。このような方法でせっかく作成したカラーレジンも、容器に保存しておくとともに顔料が沈降してしまうのはこのためです。
顔料の単粒子は極めて細かく、微細な場合は数 nm 大きな場合は数 μ 程度です。分散が十分できていれば、より透明性が増し、顔料の発色もよりよくなります。顔料の分離もほとんど起きません。
粉末を混ぜただけの着色と、アルファ UV カラーレジンの両者を比べてみればその違いは一目瞭然です。
- ④ クリア系のカラーレジン以外に、ミルク系のカラーも豊富にそろえています。

- ⑤ カラーレジン同士の混合も自由にでき、マーブル調やグラデーションなどもきれいにできます。
- ⑥ 顔料系着色は、染料系着色に比べ、硬化時の発熱による変色や、経時変化による退色、耐侯性などは染料系よりも一般に優れています。染料系の着色品は、染料自身が化学変化しやすいため、混合する相手の樹脂によって退色したり、変色したりします。顔料系の着色は、相手を選ばず、ほとんどの場合混合使用できると考えられます。(一部相性一応確認が必要です。)

アルファ UV カラーレジンでは現在 50 色(メーカーラベル 28 色)程の色を取りそろえ、販売をしております。顔料を中心にしたカラーレジンで、この豊富な品ぞろえをしているメーカーは今のところアルファ化研社のアルファ UV カラーレジンのみです。





べっ甲セット (25g 入×3 本)

Ⅱ カラーレジンのメリットはほかにも

- ① カラーレジンの良さを理解してくれたユーザーは、必ずリピーターになってくれます。
- ② ユーザーは、単色でなく多色を望みますから、何色ものまとめ買いをされる傾向があります。
- ③ クリアレジンは価格競争が激しくなっていますが、カラーレジンはまだ競争がありません。
- ④ 希望の色に調色も可能です。(ただしご購入数量によります。)

Ⅲ カラーレジンの性状

主成分	アクリレートオリゴマー、アクリレートモノマー、着色顔料等	
粘度 cps/25℃	5000～6000	
硬化時間	紫外線ランプ照射機 (36W)	3～6 分
	太陽光(直射光)	3～15 分

ガラス越しの太陽光はガラスによって紫外線が吸収されますから、かなり遅くなる場合があります。直射による太陽光は、時間、季節、天候によって大きく変わります。

405nm の LED ライトにはあまり反応しません。

405nm の LED ライトで硬化する UV レジンは現在開発中です。(低粘度クリアレジンは 405nm の LED で硬化します。)

IV UV レジンの安全な取り扱いについての質問回答一覧

① 成分	主にアクリレート化合物および光反応開始剤により製造されています。
② 推奨作業環境	換気についてはされたほうが良いと思います。 どの UV レジンも硬化時には発熱があるため、少量のガスが発生します。発生するガスは日本産業衛生学会の許容濃度は特に設定されておりませんし、この時のガス濃度で人体に影響があるという報告や知見は現在のところありませんが、余計なガスを吸入しないほうがよく、屋外や、換気扇の下など空気が滞留しない場所で硬化させることのほうが望ましいと思います。
③ 人体への有害性	アクリレート化合物といってもその種類は非常に多岐にわたっており、各社によって成分は異なります。ネット上の話はレジンを指しているものでなく、広く一般的な話と理解します。そのうえで成分原料についてはアルファ UV カラーレジンは皮膚刺激性や有害性の少ないものを選択し使用するようになっています。 いっぽう、他社 UV レジンを扱ったため、指先がひりひり傷んだり、赤くはれたりといったレジンも存在するようです。アクリレート化合物の中には皮膚刺激の強い種類のものもあるので、これらの製品はこれら原料を使用していることを強く疑わせます。 また、皮膚や体に対しての感作性は個人差がかなりあり、一概にはなかなか言えません。皮膚刺激に弱く敏感な方は、手袋、マスク、換気などをしたほうが良いと思います。
④ 手に付着した場合	手に付着した場合はすぐにふき取り、クレンザーなどで水洗いをする、あるいはアルコールをウエスに湿らしふき取るなどすれば通常大丈夫です。アルファ UV カラーレジンの製品原料で人体に障害が出るなどの報告や知見は現在のところありません。
⑤ 使い捨て手袋の取扱い	使い捨てタイプですので、耐油性があまりなく破れたり、すぐに穴が開いたりした場合は取り替えてください。 天然ゴムなどの手袋で、表面の粉か手袋中の成分かはわかりませんが、人によってはかぶれたり、皮膚の障害が起きるケースもあるようです。
⑥ 換気について	換気によってかなりガスを低減できると思います。 硬化時に発熱があるため、高温時にどうしても一定のガスは発生します。通常の作業で発生するガスは量的には微量であり、この程度のガス濃度によって人体に障害が起きるというような知見現在のところはありません。また日本産業衛生学会による許容濃度などの設定はされていません。
⑦ 削り時の粉塵による塵肺は	使用しております原材料に現在のところそのような知見、報告のあるものは存在していません。根拠のない噂話の範疇の事柄と思われれます。

⑧ 保護マスクの着用義務	特にございません。着用されるなら、マスクには防塵用と有機ガス用がありますので、目的によって着用すべきと思います。
⑨ アクセサリーとして皮膚に触れた場合の危険性は	個人差があり、一概には言えないと思われます。硬化した原料アクリレート化合物は網目状の高分子になっており、それ自身には毒性などはないと考えられます。ただし、未反応物などもありすべてが高分子になっているわけではないのですが、液体時よりも安全性はかなり高いと考えられます。従いまして、防塵マスクが必須かどうかは個々人の判断という事になるかと思ひます。 身に着けた場合に障害があるという報告は現在のところありません。個人差もありますので、何か異常が起きた場合は使用を取りやめてください。



昭栄通商株式会社

名古屋市南区千竈通 5-2-2

TEL052-823-2881 FAX052-824-8176